



GLORY

中期経営計画 説明会

平成19年3月期～平成21年3月期
(2007年3月期) (2009年3月期)

グローリー工業株式会社

1 . 基本戦略と目標

2 . 成長戦略

3 . 効率化戦略

4 . 業績目標

当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。

当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しが変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださいますようお願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。



事業環境

(百万円)	2005年(平成17年) 3月期	2006年(平成18年) 3月期	増減率
売上高	188,881	138,000	26.9%
営業利益	32,554	6,000	81.6%
経常利益	32,267	6,500	79.9%

基本戦略と目標

- グループビジョン
- 経営基本方針
- 平成21年3月期 業績目標
- 基本戦略



基本戦略と目標

グループビジョン

GLORYを世界のトップブランドに！

経営基本方針

一人ひとりが個性を発揮し、お客様の期待に応え、グループ全体の企業価値向上を実現するために、私企業として利益の追求と社会の公器としての社会貢献を追求してまいります。

平成21年3月期 業績目標

- 売上高 1,600億円
- 営業利益 120億円（営業利益率7.5%）

基本戦略

- 成長戦略
 1. 強化事業の推進（海外、流通、遊技）
 2. 成熟市場の再活性化（金融、たばこ販売機）
 3. 非現金分野事業、新規事業領域の推進
- 効率化（体質強化）戦略
 1. 事業構造改革の推進
 2. グローリー商事との合併による経営効率の向上

成長戦略

- 強化事業の推進（海外、流通、遊技）
- 成熟市場の再活性化
- 非現金分野事業、新規事業領域の推進

■ 海外市場

海外販売体制の強化

- 現地法人グローリーEuropeとグローリーGmbHの一本化による欧州販売体制の強化
- 欧州市場における直販網の整備

システム機の拡販

- オートキャッシャーの拡販(欧州、米国)

O E Mチャネルの活用

- ATMユニットの供給
- システムメーカーの海外現地法人チャネルの活用

未開拓市場、分野の開拓

- 海外の流通市場の開拓(自動つり銭機)
- BRICs市場への拡販(インド、ロシア、中国、ブラジル)

■ 遊技市場、流通市場

遊技市場

カードシステムの拡販（ナスカの積極活用）

周辺機器の充実

流通市場

フロント市場の拡販

- 現自動つり銭機の拡販
- 無人レジシステムへのユニット供給

警送、B S 市場の拡販

- 警送会社による現金回収ニーズの高まりへの対応

成長戦略 [成熟市場の再活性化]

■ 金融市場、たばこ自動販売機市場

金融市場

郵政市場への拡販

- 窓口用入出金機の拡販
- オープン出納システムの導入拡大

店舗形態の変化への対応

- ロビー機、自動機の充実と拡販

たばこ自動販売機市場

成人識別機能付き販売機への対応（買い替え・改造需要）

- 2008年度導入に向けた需要確保（当社ポテンシャル15万台）

成長戦略 [非現金分野事業、新規事業領域の推進]

■ 非現金分野、新規事業領域

非現金分野

[CAN事業の推進]

- 情報センターを活用した
手数料ビジネスの拡大

【事業概要】

- ・デビット・クレジットカード決済代行
- ・証券業務支援サービス
- ・データ集計・加工・配信業務
支援サービス

[オペレーションビジネス]

- オペレーション事業の拡大

【対象】

- ・ロッカー他

新規事業領域

[生体認証ビジネスの推進]

- バイオメトリクス認証技術の応用
によるセキュリティ事業推進

【グローリーの保有する技術】

- ・顔認証技術
- ・指紋認証技術

[新ビジネスモデルの推進]

- 自社製現金処理機を活用した
現金精算サービスの展開

【対象】 大型ショッピングセンター等

【事業概要】

- ・現金処理機の提供
- ・人員の派遣

効率化(体質強化)戦略

- 事業構造改革の推進
- グローリー商事との合併による
経営効率の向上

効率化（体質強化）戦略

■ 事業構造改革の推進



海外生産、海外部品調達の拡大による
コストダウンの実施

S C M活用による製品在庫削減

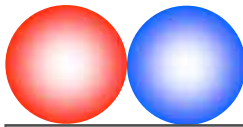
物流体制の整備による物流コスト削減

部品、ユニットの共通化による
開発効率向上とコストダウン



効率化（体質強化）戦略

■ グローリ - 商事との合併による経営効率の向上



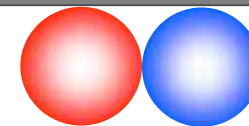
平成18年10月1日合併予定

製販一体による
ダイレクトマーケティング機能の強化

顧客対応の意思決定の迅速化を図り、
事業のスピードアップを実現

事業ユニット毎の採算性の明確化して、
トータルコスト管理を徹底

共通機能の見直しによる効率化と人材の有効活用



GLORY

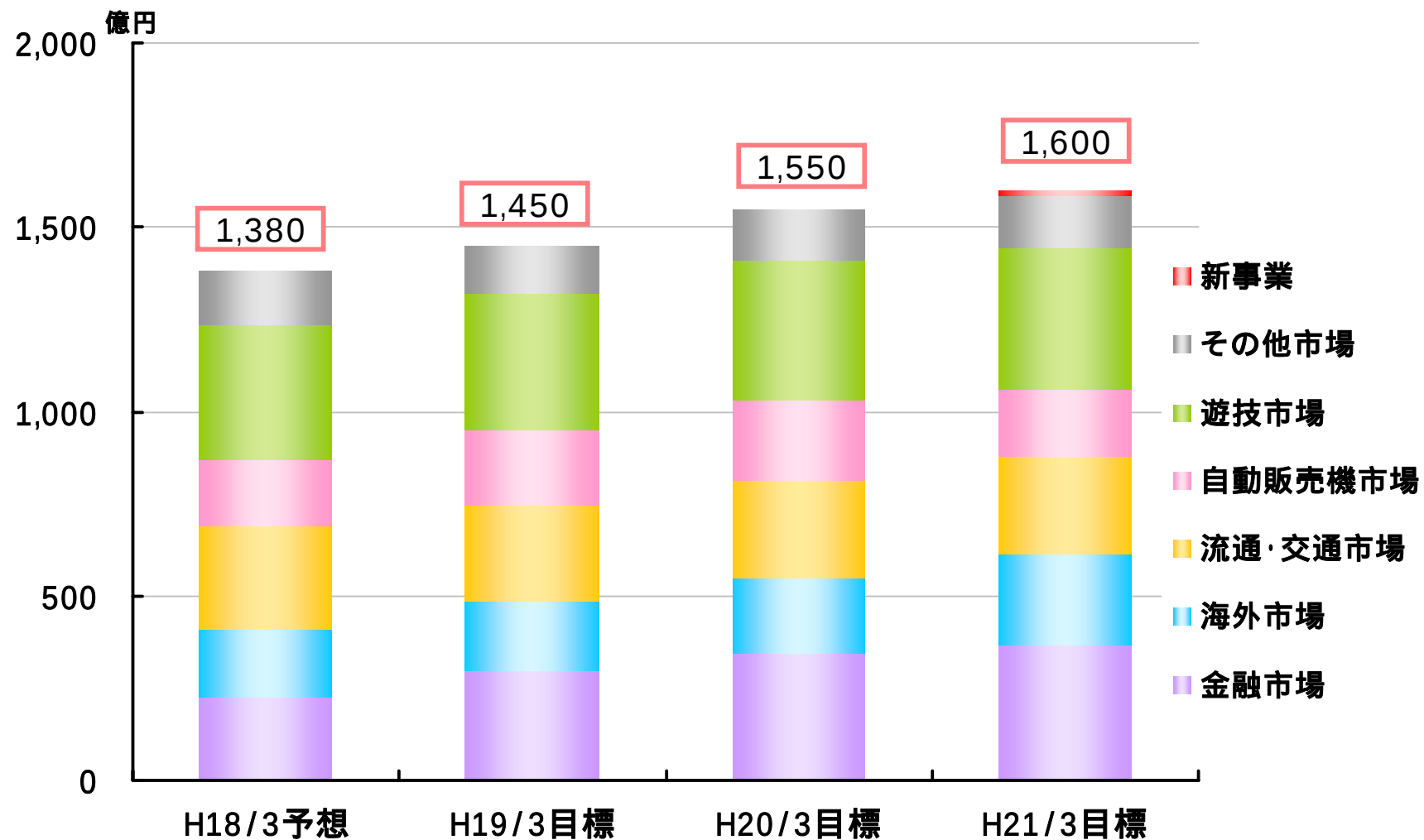
業績目標

- 売上高
- 営業・経常利益



業績目標

■ 市場別売上高





業績目標

■ 営業利益、経常利益

